



「第46回東京都本部大会」で挨拶する吉田会長（7月22日 文京シビックセンター）

不屈

東京都本部

「不屈」No.590

東京版No.491

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

〒113-0034
東京都文京区湯島2-7-8
労音お茶の水ビル1F
電話 03(6240)0283
FAX 03(6240)0284
振替 00100-5-99628
E-Mail tokyo-chian@bz04.plala.or.jp

「戦争勢力の復活を許さない」 国賠の役割を果たすとき、運動の継承を

第46回東京都本部大会特集（上）

会長 吉田 万三

いま一番大事なのは「日本を戦争国家にしてはいけない」ということです。ウクライナ戦争は、双方が劣化ウラン弾を使用して、不発弾で孫子の代まで犠牲が続きます。先が見えていません。一刻も早く終わらせなければいけません。

一方、国内は物価高が続いています。ガソリンから食料品まで生活必需品はじめ全てのものが値上がりです。スーパーに行つてもお金の減り方がものすごい。物価高をみんな感じている。苦しんでいますが、それが軍拡につながっていることがあります。そこで、普普通の人にわかるように話すことが必要です。街宣していくと質問されることがあり、「グランカク（軍拡）つて何ですか」と。戦争というとわかるように話すことが必要です。しっかりと結びつかるようになります。

大きい事でいきます。物価高と戦争がしつかり結びつかるように話すことが必要です。それが軍拡につながっていくことが必要です。今まで思つていらない。物価高の原因が戦争にある事をもつと訴えていく必要があります。街宣していくと質問されることはあります。それが軍拡につながっていることがあります。そこで、普普通の人にわかるようになります。

(2面につづく)

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

一、治安維持法体制の復活に反対する。
二、国は、戦前の治安維持法が人道に反する悪法であると認めることがあります。

三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。

世界は大きな転換を迎えています。グローバルサウスには、かつての植民地や新興国、そしてブリティッシュという国がありますが、どこかの軍事同盟にも属さない、違ひはあるが霸権を争うのではなく、それぞれに立場を尊重しながら国際関係を作つていいこうという新しい流れが生まれてきています。

経済的には中国が勢力を伸ばしている。そこでアメリカは一極支配を再構築しようとしている。一国では無理だが、世界を力で支配していくこと。

世界での軍事同盟はヨーロッパ（NATO）と日本、米韓くらいしかありません。軍事同盟に頼りた世界支配ではなく平和的な協力関係を作つていく。平和国家への構想が今の日本に求められていました。私たち大事なたかいを迎えていけるのです。そこで二つ目に大事なのは、私たち國賠同盟がどんな役割を求めているかということです。

(1面の続き)

今年、関東大震災100年の節

目を迎えています。映画もできま

した。しかし福田村事件については、野田市出身の人聞いても、事件を知らない、伝えられています。

ごあんない「布施辰治」偲ぶ会

日時 9月10日(日)

場所: 豊島区民センター 502号室

(豊島区東池袋1-20-10) ☎ 03-6912-7900

<学習会> 午後1時~ (お話) 藤田 廣登 氏

<墓参會> 午後2時30分~

場所: 南池袋「常在寺」

(豊島区南池袋2-20-7)

*参加申し込みは ☎ 090-4029-8947へ

伊藤千代子の時代が前半の50年、後半50年の責任は私たちも担つてあります。油断していると戦争推進派が復活してきます。都同盟は念願の1,300人を越えました。新しい情勢のなかで次の世代に引き継いでいく。亀戸事件も100年です。まさに歴史の節目です。



講演する小泉親司氏

また大会に先立ち、午前中は「岸田大軍拡と『安保3文書』」をテーマに小泉親司氏（日本共産党基地対策責任者）の講演がありました。台湾有事を煽る岸田政権が、アメリカの対中国軍事戦略に従つた日米防衛協力で、国民保護と大ウソをつけ、軍拡大増税に走っている。いまこそ日米一体となつた戦争準備を國民に知らせ、戦争阻止の國民大運動をと、国賠

岸田首相あてに送付しました。また大会に先立ち、午前中は「岸田大軍拡と『安保3文書』」をテーマに小泉親司氏（日本共産党基地対策責任者）の講演がありました。台湾有事を煽る岸田政権が、アメリカの対中国軍事戦略に従つた日米防衛協力で、国民保護と大ウソをつけ、軍拡大増税に走っている。いまこそ日米一体となつた戦争準備を國民に知らせ、戦争阻止の國民大運動をと、国賠

伊藤千代子の時代が前半の50年、後半50年の責任は私たちも担つてあります。油断していると戦争推進派が復活してきます。都同盟は念願の1,300人を越えました。新しい情勢のなかで次の世代に引き継いでいく。亀戸事件も100年です。まさに歴史の節目です。

伊藤千代子の時代が前半の50年、後半50年の責任は私たちも担つてあります。油断していると戦争推進派が復活してきます。都同盟は念願の1,300人を越えました。新しい情勢のなかで次の世代に引き継いでいく。亀戸事件も100年です。まさに歴史の節目です。

「ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために」頑張りましょう。

同盟への期待が語られました。講演を聞いたMさんは、南西諸島の自衛隊強化が急速に進み、長距離ミサイルが配備され、住民が避難するシェルター建設までやろうとしている。再び沖縄を戦地にする岸田政権の暴走を止めたい。

シナリードル本部大会を開催しました。各支部から31人が参加し、2022年度のまとめと会計報告、2023年度の活動方針と予算、役員体制について協議し、全議案を全会一致で採択。特別決議「岸田内閣による戦争をする国づくりに断固抗議する」は、7月26日に岸田首相あてに送付しました。

*今月号では会長挨拶と事務局長報告を紹介。大会発言や来賓挨拶は次号以降に掲載します。

中嶋事務局長報告

1. 2022年度の活動報告

第46回大会は、前大会から25人増の1,340人で迎えました。

この間の活動は、会員拡大では、59人拡大、34人退会。うち映画「わが青春つきるとも」鑑賞者7人が入会しました。

国会請願署名の取り組みは、「不屈」への返信封筒折り込み3回実施、151人から返信。支部からは5,225筆が寄せられました。団体訪問・団体での署名も進み、3年ぶりに一万筆を越え、12,200筆になりました。

支部建設では、5支部をめざし

同盟の活動には熱い感動に出会うことが多い。八月にはこの5年間で、2度も出合った。同盟は「敗戦記念日」に「再び戦争と暗黒政治を許さない」とアピールをしている。▼荒川支部を立ち上げた時、「荒川支部が発足しました。ご一緒に活動しませんか?」と呼びかけて新聞に折り込むと即日会希望者から連絡。「92歳で休は思つうに任せないが、大事な活動を知つてせめて名簿の片隅にでも参加したい」とのお話。支部長と一緒にお尋ねすると、ヘルパーさんのお世話になりながらもきちんと準備をしてお待ちでした。▼2022年にも新聞折込をすると中央区から即日、電話が入り「大事な活動があることを知りました。夫婦会員になります」という92歳の方でした。お宅に行くとお連れ合ひは認知症で施設にいるとのこと。でも今までなんでも二人でしてきましたからここも一緒にお願ひしたいという話に感動。今中央支部を立ち上げる準備をしていますが、メンバーと顔を合わせることを楽しみにしておいでです。

(秀)

7月13日国会第一衆議院会館で「関東大震災朝鮮人虐殺記録映画」が上映され、300人以上が鑑賞した。

映画は「100年前の9月1日に発生した関東大震災の死者は、総数105,385人、東京は70,387人、神奈川は32,838人である」から始まった。生き残った多くの被災者たちは家を失い、家族を失い、火災に追われて途方に暮れていた。ラジオもない時代で情報に飢えていた。そこに「朝鮮人が井戸に毒を入れた」「放火した」などの流言飛語が飛び交った。内務省は流言拡大に対し、2日に治安維持のため戒厳令を施行した。3日には、船橋の海軍無線送信所から全国に「朝鮮人の放火は東京市内に」と流言を広げた。

朝鮮人を最も多く殺したのは自警団だ。習志野の収容所に到着した朝鮮人を戒厳軍は周辺の村々の自警団に「朝鮮人をくれてやるから取りに来い」と村役場を通じて払い下げを命じた。自警団は「朝鮮人は皆殺しにしろ」と指令した。捕まつた朝鮮人を「親の敵」「子の敵」と言って、持っている棍棒で所かまわず打ち付けて殺した。針金で手を縛り、死んだ朝鮮人は川に放り投げられた。日本の自警団、軍隊は罪もない朝鮮人を殺したのだ。この映画

の吳充功監督の祖父は、朝鮮人の死体のそばに死んだふりをしていたので助かったそうです。

なぜ、虐殺事件は起きたのか?

1919年、朝鮮では3・1独立運動が広がり、日本の官憲は監視を強めていた。日本国内では工業化が進み労働力需要が高まっていた。そこへ植民地の朝鮮で生活に困窮した人や留学生が、東京周辺の都市

部に多く来ていた。日本人より低賃金で働く朝鮮人や中国人に対して排外主義意識を高めていた。そこに震災が起き、流言にあおられた自警団が各地で朝鮮人を虐殺した。そして、日本の社会主義者や若い労働者活動家もその中で虐殺された。

関東大震災から100年です。岸田政権は大軍拡をしようとされています。アメリカから高い武器を買いアメリカ言いなりです。岸田政権の軍拡が戦争への道になるよう怖いです。

* 高麗博物館(新宿区大久保1-12-1第2韓国広場ビル7F)では、12/24まで「関東大震災100年～隠された朝鮮人虐殺」パネル企画展を開催中。ぜひ支部で出かけましょう。開館時間;12:00-17:00 休館日;月・火曜日 入館料;一般400円、中高校生200円 ☎03-5272-3510



再び 戦争と暗黒政治を許さない!

中嶋事務局長

画上映運動と結び、中央区、台東区で支部建設準備が進み、2つが結成さ

ました。映画「わが青春つきるとも」の映画上映はこれまで16支部、未開催す。上映運動では「1万人鑑賞」めざし、6月末で5,402人が鑑賞。上映運動全体を通して、54人が入会。

た、頑張りたい」との感想が多く寄せられています。戦争への道を止めたいが求められる情勢で、上映運動の重要性はいつそう明らかです。第三次上映運動へとつなげましょう。治安維持法による犠牲者の顕彰活

動は、国賠法制定運動とともに同盟の重要な活動の一つです。今期新たに築地多喜二祭(中央区)と杉浦正男墓前祭(港区)が取り組まれました。小林多喜一築地ウオーカーは「終焉の地にプレート設置」を、また多喜二が活動した麻布十番の地に「顕彰プレート」をと、2つの運動も始まりました。

岸田首相は、憲法を破壊し「敵基地攻撃能力」を持ち、ミサイル等の武器を爆買しています。しかしながらを国民世論を無視して閣議決定し、国会では問答無用の多数決強行まさに独裁体制そのものです。

足立支部 高橋陽子

映画「払い下げられた朝鮮人」

2023年度活動方針

かつて天皇制のもとで行われた朝鮮、中国、アジアへの侵略戦争で敗戦した。侵略戦争は間違いであり、治安維持法はなくなつた。そして命を賭して戦争に反対した闘いが不戦の憲法に結実しました。しかし、この侵略戦争を反省せず、再び戦争への道に進む岸田政権は断じて許せません。同盟は戦前の歴史の体現者として、多くの人に知らせ「ふたたび戦争と暗黒政治を許さない」闘いの

先頭に立つ役割があります。

来るべき衆議院選挙で市民と野

党の共闘実現に他団体とも共同し

勝利に全力を挙げます。

来る50周年にむけ、①空白地域

に支部を結成し、1,500人都

同盟をめざします。②治安維持法

犠牲者名簿に補充し、新しい犠牲

者名簿を作ります。③財政の確立

のために会費納入率を高め、募金

の取り組みを強めます。この中で

2025年の治安維持法成立10

0周年記念行事を計画します。

(1) 支部建設と会員拡大

都本部として支部未確立14地域

足立支部 濱谷正支
読んだ覚えがあつた。倒一
鬼気迫る迫力に作品ができ
た。全作品が観るに見える。
多くの人に相談し、地元で
もぜひ作品展を開きたい。

【連絡・相談先】
武田美通・鉄の「戦死者たちからのメッセージ」
広める会☎090-7288-1489(仲内) oke
ra@kna.biglobe.ne、

前年の新たな取り組み(築地多
喜二祭と杉浦正男墓前祭)を加え、
毎年定期的に顕彰して

地域になりました。

また築地ウオーカー

「終焉の地にブレーント

設置」、麻布十番多喜二「顕彰プ

丁度、都本部大会

同会場で開かれていた。昼休みに鑑賞す

ることができた。

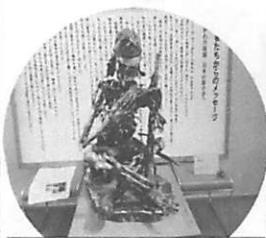
練馬の平和展に代

表作「帰還兵が問う」で

の記事を「不屈」で

「戦死者たちからのメッセージ」

全30作品展(鉄の造形作家 武田美通)



靴を喰らう兵士

で50周年までに毎年4支部結成、
全地域支部確立をめざします。

ため、毎年50人を拡大します。
支部は50周年をどのように迎え
るか、よく検討し計画を持ち、年・
月目標を持って活動しましょう。

レート」の運動を関係団体、個人と
協力して推進します。

(4) 映画「わが青春つきまと もく伊藤千代子の生涯」

本名は背番号制マイナンバー

未開催地での上映と、開催した

支持率を下げて名を上げる岸田さん

ところでも、地域ごとや青年、学
生、女性など階層別開催を検討す

る。

都本部は未開催の8地区での上

映を支部づくりと結び推進します。

特に、学生・青年を中心とした上

映会を重視します。学生では、日

本共産党の千代田、北多摩中部地

区にも協力を得て推進します。

学習活動は同盟運動の原動力で

す。『治安維持法と現代』をテキ

ストに、ビデオ、DVD等も使い

積極的に小集会を開きましょう

(5) 学習活動

学習活動は同盟運動の原動力で

す。『治安維持法と現代』をテキ

ストに、ビデオ、DVD等も使い

積極的に小集会を開きましょう

(6) 関東ブロック会議

日時 10月9(月)~10(火)
会場 ホテルポートプラザしば

記念講演「今につながる治安維
持法体制に決着を」は小松実副会
長にお願いしています。各支部か
ら参加しましょう。



團 扇

【読者のみなさんの投稿歓迎】

川柳 植竹団扇 選

新宿区 阿部俊雄

練馬区 中村茂樹

荒川区 風間秀子

中野区 中嶋育雄

調布市 稲邑明也

八王子市 清水邦治

ひもつきはからまるものじや玉とな
る

八王子市 清水邦治

ひもつきはからまるものじや玉とな
る

八王子市 清水邦治

夏の朝梅雨あけつけるセミしぐれ

足立区 高橋陽子

電気代値上げで増える熱中症

豊島区 藤本増美

ハンチバックの記者会見眩しそぎ

中平 央和 区民の 戦争展

2023年
8月12日(土)
正午~午後8時

8月13日(日)
午前10時~午後4時

月島社会教育会館 ホール

月島区民センター4階 / 中央区月島4-1-1
※地下鉄月島駅 10番出口

入場
無料

主催 平和をねがう中央区民の戦争展実行委員会
問い合わせ先（福田） mobile:090・4077・2282

mail:pcdepot091602@ozzio.jp

8月12日(土)

- 12:00 開場
12:20 オープニングイベント
朗誦 新婦人中央支部

- 13:30 講演「大軍拡は戦争のリスクを高めるだけ
—戦争より平和の準備を」

布施 祐仁さん (ジャーナリスト)
ふせ ゆうじん



1976年生まれ。フリージャーナリスト。
近著に『日米同盟・最後のリスク なぜ米軍のミサイルが日本に配備されるのか』(創元社)。2018年、『日報隐蔽南スーザンで自衛隊は何を見たのか』(三浦英之氏との共著、集英社)で石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞を受賞。

- 16:00 ドキュメンタリー映画
「島がミサイル基地になるのか
若きハルサーたちの唄」(60分)

- 18:00 DVD鑑賞
「証言3部作 侵略戦争・中国人強制連行・20世紀からの遺言」
(日本中国友好協会制作)

8月13日(日)

- 10:00 開場
10:30 ドキュメンタリー映画
[葫蘆島大遣返～日本人難民
105万人引揚げの記録～] (102分)
12:30 合唱 エーデルワイス (新婦人中央支部)
13:30 講演「関東大震災朝鮮人中国人虐殺
事件から100年—いま、何を考えるべきか」

田中 正敬さん (専修大学教授)
たなか まさたか



専門は朝鮮近現代史、日朝関係史。
現在は1920年代の植民地期朝鮮と日朝関係を研究する立場から、とりわけ関東大震災時の朝鮮人虐殺の背景やそれがどのような影響を及ぼしたのかについて、検討を進めている。共著に『地域に学ぶ関東大震災』(日本経済評論社、2012年)、『関東大震災と朝鮮人虐殺』(論創社、2016年)、論文として「東京における関東大震災時の朝鮮人虐殺と流言」(伊藤俊介、小川原宏幸、慎蒼宇編『下から』歴史像を再考する—全体性構築のための東アジア近現代史)有志舎、2022年)。

特別展示

- 関東大震災朝鮮人中国人虐殺事件の実相
○命どう宝! 戦争はいらない!
ミサイル要塞化進む沖縄・南西諸島

主な展示 (特別展示以外)

- ・月島を愛した反戦・自由律俳人橋本夢道
・首都圏の米軍、自衛隊基地の実態
・これが教科書検定の実態!
・全国に広がる「9条の碑」
・小林多喜二没後90年

会場案内

地下鉄

都営大江戸線

東京メトロ有楽町線

月島駅/徒歩5分

都バス

月島3丁目
徒歩1分

江戸バス

月島区民センター
徒歩1分



アンブレイカブル -敗れざる者たち-

Unbreakable



罪
は
搜
す
な
作り出
せ！

2023年8月19日(土)～8月27日(日)

東京芸術座アトリエ

原作 柳 広司
(「アンブレイカブル」KADOKAWA刊)
脚本・演出 杉本孝司

約 100 年前のこの国で、何らかの価値があると思えるものを手に入れようと、努力したり、苦しんだり、鬭った人々がいた。
反面、人を殺したり、拷問にかけたりする人がいた。
そして、多くの人々が沈黙した。
それはいったいどういうことだったのか？
2023 年、私たちの前に一敗れざる者たちが甦る。



クロサキ
神谷信弘



クロサキの部下
松並 俊祐



小林多喜二
鈴木 健一郎



谷勝巳
梁瀬 龍洋



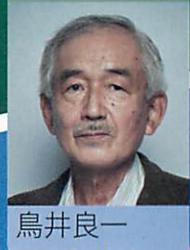
萩原純彦
小川 拓郎



志木裕一郎
脇 秀平



和田喜太郎
平田 正治



鳥井良一
しもじい



カサンドラ
中新井 美穂



三木清
刑務官
笠岡 洋介



森路敏

アンブレイカブル -敗れざる者たち-

Unbreakable

2023年8月19日(土)~27日(日) 東京芸術座アトリエ

開演日時	19日 (土)	20日 (日)	21日 (月)	22日 (火)	23日 (水)	24日 (木)	25日 (金)	26日 (土)	27日 (日)
14:00	◎	●	●	●	●	●	●	●	●
19:00				★ ライブ配信			☆ ライブ配信		

◎ … 8月19日(土) 公演終了後、客席にてアフタートークがあります。

★ … 8月23日(水) 夜割、ライブ配信があります。

☆ … 8月25日(金) 夜割があります。

※ 会場に駐車場はございません

◆入場料 (消費税込)
【全席自由席】 一般／4,000円 30歳以下／3,000円 高校生以下／2,000円
障がい者／3,000円 夜割／3,500円

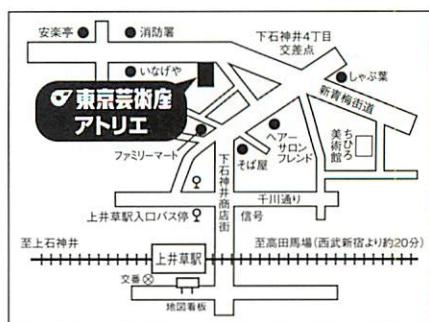
※ 未就学児のご入場はご遠慮ください。

◆ライブ配信 配信日：8月23日(水) 19:00～
配信チケット／2,000円 (振込手数料別) ※アーカイブ視聴期間：9月6日(水)まで

◆お問い合わせ 東京芸術座 【受付時間10:00～18:00 (土日祝・休)】

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-19-11
[TEL] 03-3997-4341 [FAX] 03-3904-0151
[E-mail] tougei@tokyogeijutsuza.co.jp
[web] http://www.tokyogeijutsuza.co.jp

《ライブ配信や詳細情報は東京芸術座ホームページ及び右記QRコードで確認できます》



西武新宿線 上井草駅下車 徒歩7分
JR中央線 萩窪駅より西武バス 石神井公園行
西武池袋線 石神井公園駅より西武バス 萩窪行
(約14バス) 上井草駅入口下車 徒歩5分

